



2017年3月期 第1四半期 決算説明資料

自 2016年 4月 1日
至 2016年 6月30日



2017年3月期 第1四半期 決算説明資料

- ▶ 決算実績サマリー …3
- ▶ 売上高と営業利益の推移 …4
- ▶ セグメント別売上高・営業利益 …5
- ▶ 経常利益増減要因分析 …6
- ▶ 財政状態の分析 …7
- ▶ 連結業績の詳細 …8-11
- ▶ 株主還元配当金【過去10ヵ年】 …12
- ▶ セグメント別業績達成率 …13



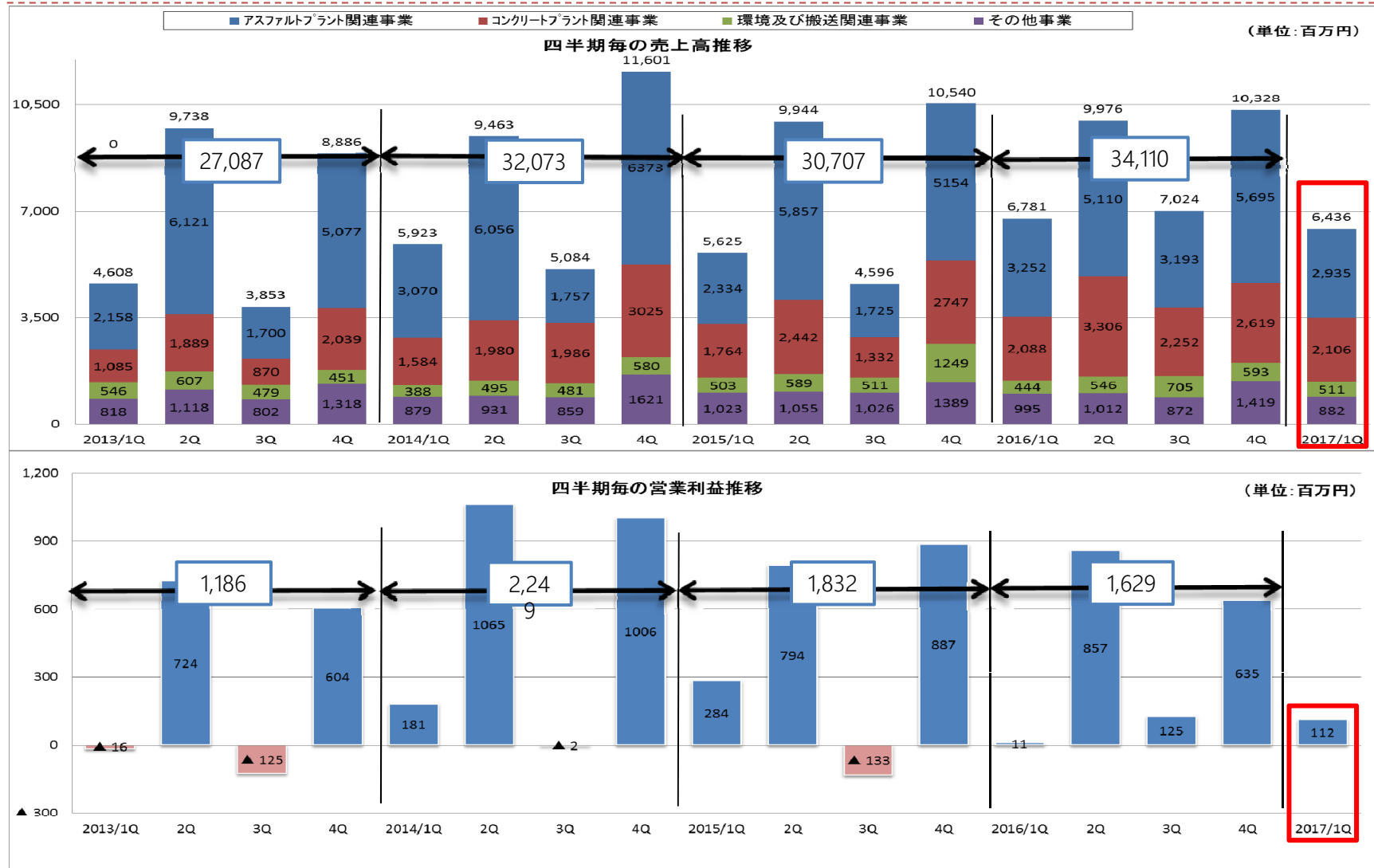
【アスファルトプラント】…写真は本社工場内仮組時のもの

2017年3月期 第1四半期 決算実績サマリー

(百万円)

	2016年3月期 第1四半期	2017年3月期 第1四半期	増減	決算のポイント (前年同期比)
売上高	6,781	6,436	▲ 345	<p>【売上高】 AP メンテナンスサービス及び輸出の減少で前期比▲316百万 BP 予定通りで前期比+17百万</p> <p>【営業利益】 原価率の改善により増益。</p> <p>【経常利益】 為替差損▲24百万計上。</p> <p>【当期純利益】 前期はベニングホーヘン社の持分売却益があったため、今期は減益。</p> <p>【受注残高】 AP 2015/6月期比 +47百万 BP 2015/6月期比 ▲951百万 なお、2016/3月期比では受注残高は996百万増加。</p>
営業利益	11	112	+100	
経常利益	126	187	+60	
当期純利益	1,188	124	▲ 1,064	
受注残高 (当期末残高)	11,415	10,993	▲ 422	

2017年3月期 第1四半期 売上高と営業利益の推移



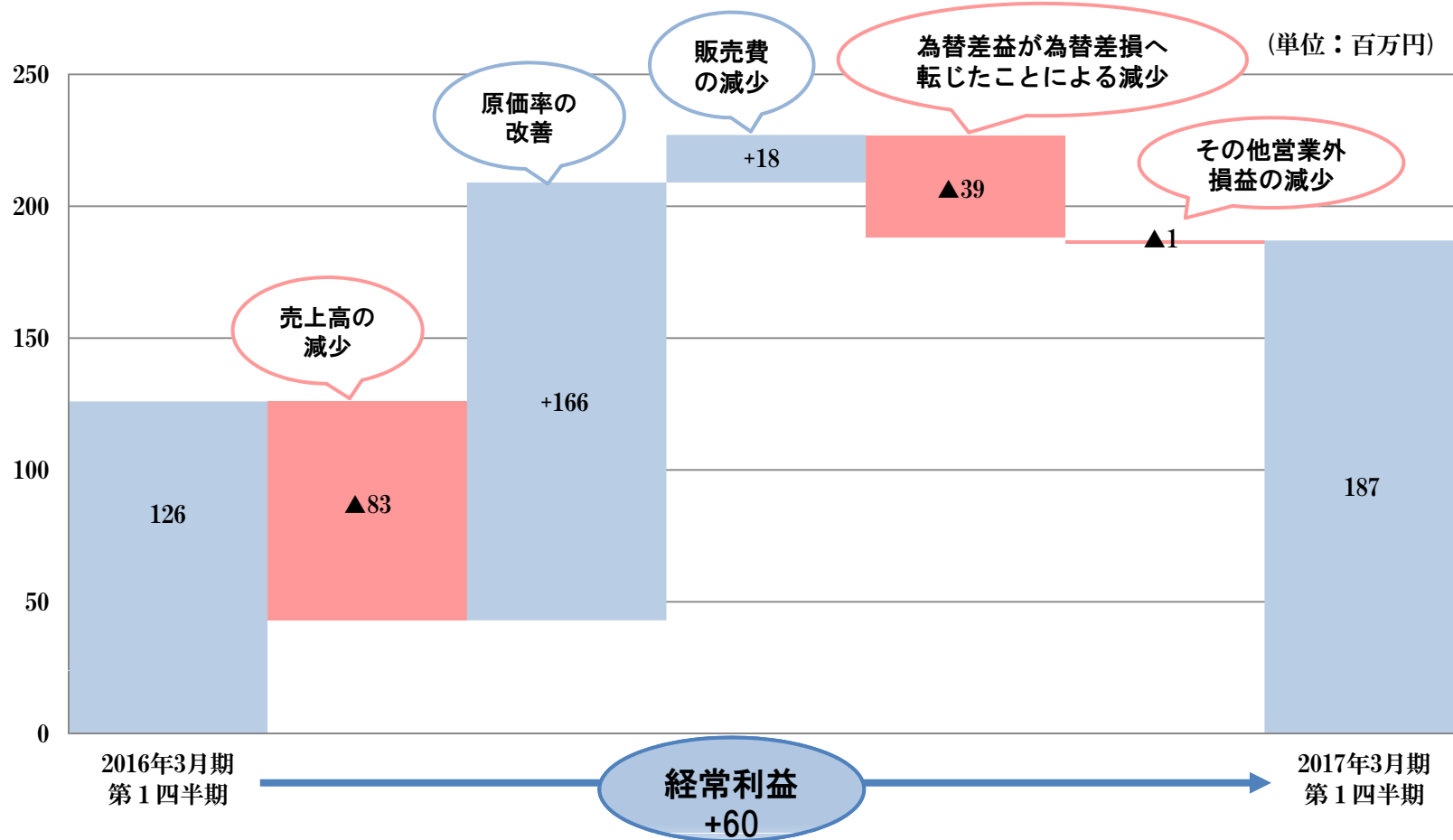
2017年3月期 第1四半期 セグメント別 売上高・営業利益

(単位：百万円)

セグメント	売上高			営業利益		
	第1四半期			第1四半期		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
■ アスファルトプラント 関連事業	3,252	2,935	▲316 (▲ 9.7%)	105	103	▲1 (▲ 1.8%)
■ コンクリートプラント 関連事業	2,088	2,106	+17 (+0.9%)	55	113	+58 (+105.5%)
■ 環境及び搬送 関連事業	444	511	+66 (+15.0%)	44	76	+31 (+70.3%)
■ その他事業	995	882	▲113 (▲ 11.4%)	47	55	+8 (+17.7%)
全社費用	-	-	-	▲ 241	▲ 236	-
合計	6,781	6,436	▲345 (▲ 5.1%)	11	112	+100 (+848.3%)

2017年3月期 第1四半期

【連結】経常利益 増減要因分析



2017年3月期 第1四半期 【連結】財政状態の分析

(単位:百万円)

連結貸借対照表		2016年3月期	2017年3月期 第1四半期	増減	主な変動要因
資産	流動資産	29,750	28,172	▲1,578	受取手形及び売掛金▲2,411 たな卸資産+599
	有形固定資産	4,606	4,569	▲36	
	無形固定資産	330	311	▲18	投資有価証券▲526
	投資その他	8,501	8,054	▲446	
総資産合計		43,189	41,108	▲2,080	
負債	流動負債	11,276	10,893	▲382	支払手形及び買掛金▲860 前受金+705
	固定負債	3,384	3,182	▲202	
純資産合計		28,528	27,032	▲1,495	当期純利益+124 自己株式▲1,005 配当金▲209
自己資本比率(%)		66.1	65.8	▲0.3	
D/E レシオ(倍)		0.09	0.09	-	
1株当たり純資産(円 銭)		680.71	696.25	+15.54	

アスファルトプラント関連事業

●セグメントの概要

アスファルトプラントの製造・販売・メンテナンスサービス。
販売先は主に国内の大手道路会社、及び海外各地区道路会社等。



【アスファルトプラント】
福岡県
近年のプラント外観のデザイン性向上を求め、お客様ニーズの高まりを受け、性能面に加え、“見た目”にもこだわった都市型プラントです。



【アスファルトプラント】
島根県
これからの再生材出荷中心の時代に適合した次世代プラントの主力機種。
コンパクトなフレームの中に省メンテナンス、省エネルギー、環境性能向上を取り込んだ新製品です。

●製品売上は前期を上回るが、サービスは売上減少

国内の製品の売上高は受注残を予定通りこなし、前期比増加したが、メンテナンス事業の売上高はアスファルト合材の出荷量が減少したため前期比減少。海外の売上高は輸出が減少したため前期比減少。受注については、前期比増加。

(単位：百万円)

	2016年3月期 第1四半期	2017年3月期 第1四半期	前期比
売上高	3,252	2,935	▲316 (▲9.7%)
構成比率			▲2.4%
営業利益	105	103	▲1 (▲1.8%)
営業利益率	3.2%	3.5%	+0.3%

連結業績の詳細 コンクリートプラント関連事業

●セグメントの概要

コンクリートプラントの製造・販売・メンテナンスサービス及びコンクリートポンプ車の製造・販売。販売先は主に国内の生コン工場。



【コンクリートプラント】
神奈川県
第二東名高速道路延長工事
用としてバッチャープラ
ント設備一式を新設、弊社の
最新機種をご採用頂きまし
た。公共工事現場における
高い品質要求、管理要求に
対応しております。



【コンクリートプラント】
山梨県
リニア中央新幹線工事に備
え、弊社の最新機種DASH-
H330ミキサと操作ULTIMATE
をご採用頂きました。生コ
ンクリートの品質管理と安
定供給に寄与しておりま
す。

●製品売上は前期を上回るが、サービスは売上減少

国内の製品の売上高は受注残を予定通りこなし、前期比増加したが、メンテナンス事業の売上高は生コンの出荷量が減少したため前期比減少。海外の売上高は前期比増加。受注については、前期比で減少。

(単位：百万円)

	2016年3月期 第1四半期	2017年3月期 第1四半期	前期比
売上高	2,088	2,106	+17 (+0.9%)
構成比率			+1.9%
営業利益	55	113	+58 (+105.5%)
営業利益率	2.6%	5.4%	+2.7%

連結業績の詳細 環境及び搬送関連事業

●セグメントの概要

ベルトコンベヤの製造・販売。空き缶、ペットボトル選別等の環境関連製品の製造・販売。

●搬送製品は前期を上回るが、環境製品は売上減少
搬送製品の売上高は前期比増加したが、環境製品の売上高は前期比減少。



【環境製品】 千葉県

スーパーの物流倉庫様に缶選別圧縮機『リサイクルJr』を導入いただきました。『リサイクルJr』はスチール缶とアルミ缶を選別、圧縮、プレス品排出までを自動処理する設備です。



【環境製品】

従来のミキサ概念とは異なるコンセプトから誕生した、粉体+液体、粉体+粉体などの混合、攪拌をスピーディかつ高品位に仕上げるミキサです。

(単位：百万円)

	2016年3月期 第1四半期	2017年3月期 第1四半期	前期比
売上高	444	511	+66 (+15.0%)
構成比率	6.5%	7.9%	+1.4%
営業利益	44	76	+31 (+70.3%)
営業利益率	9.9%	14.9%	+5.0%

連結業績の詳細 その他事業

●セグメントの概要

仮設機材、ショベル等土農工具、水門、破碎機等の製造販売。



【タウンガード 脱着式防水板】
東京都

連結子会社 日エマシナリー(株)
ITシステム開発の最大手企業
に対しコンピューター設備保護のため、防水対策の一環として納入、設置いたしました。水門技術を生かし、水位2.8mに対応しております。



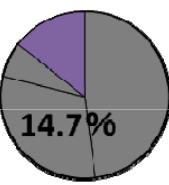
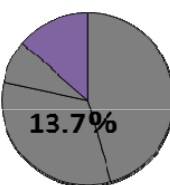
【アルミ合金製伸縮通路】
奈良県

連結子会社 日エセック(株)
建築現場の基礎梁施工時における、梁上の仮設通路として使われ、最近の人手不足より、ユニット化された手摺付き伸縮通路である、ライトブリッジの採用機会が増えています。

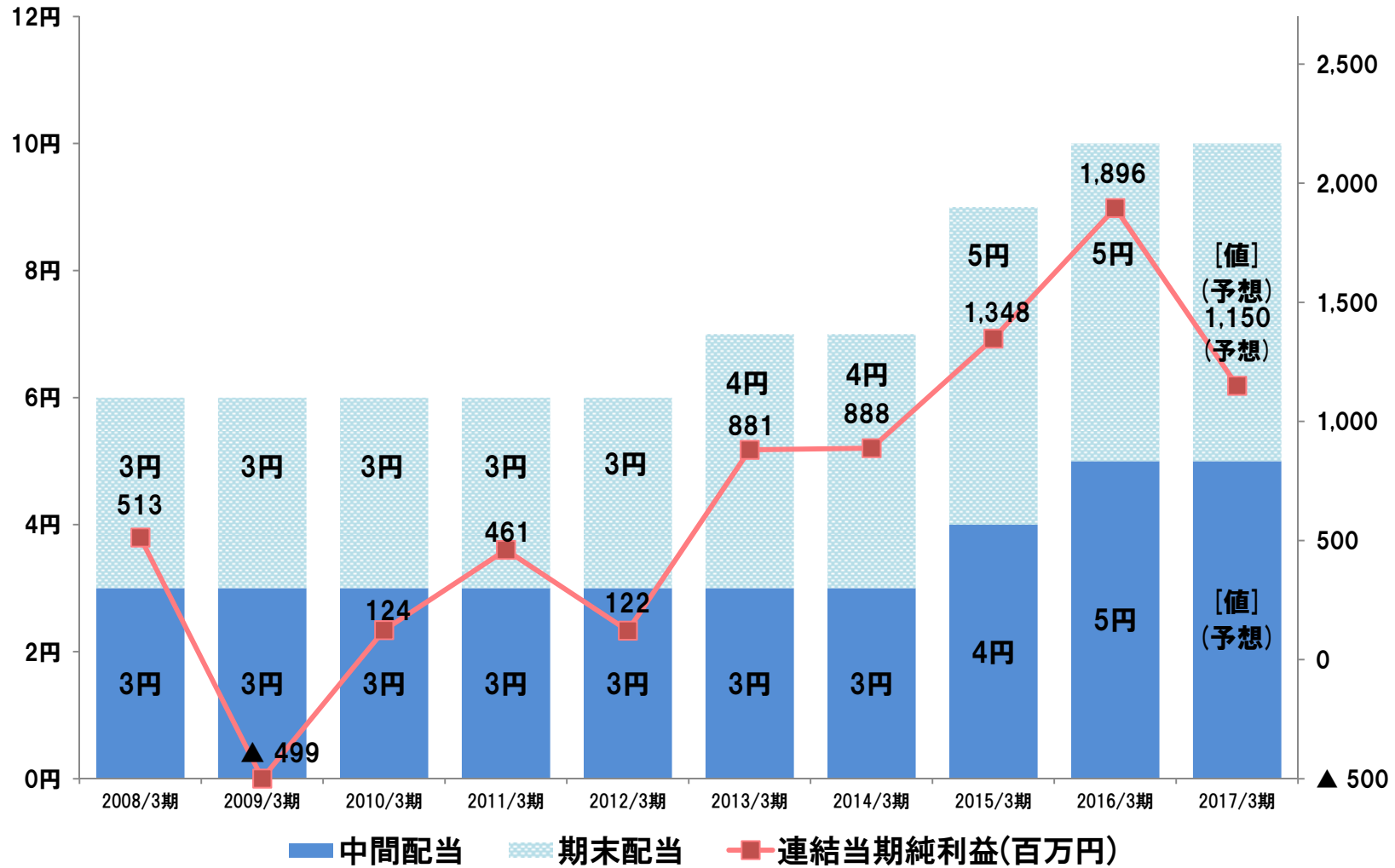
●破碎機製品は前期を上回る

破碎機の売上高は前期比増加したが、仮設機材、土農工具の売上高は前期比減少。

(単位：百万円)

	2016年3月期 第1四半期	2017年3月期 第1四半期	前期比
売上高	995	882	▲113 (▲11.4%)
構成比率			▲1.0%
営業利益	47	55	+8 (+17.7%)
営業利益率	4.7%	6.2%	+1.5%

株主還元 配当金



2017年3月期 第1四半期 セグメント別 業績達成率

(百万円)

	売上高				営業利益 (営業利益率)			
	2016年 3月期	2017年3月期			2016年 3月期	2017年3月期		
		通期予想	1Q実績	達成率		通期予想	1Q実績	達成率
アスファルトプラント 関連事業	17,252	16,500	2,935	17.8%	1,234 (7.2%)	1,320 (8.0%)	103 (3.5%)	7.8% -
コンクリートプラント 関連事業	10,267	9,500	2,106	22.2%	878 (8.6%)	760 (8.0%)	113 (5.4%)	14.9% -
環境及び搬送 関連事業	2,289	2,800	511	18.3%	337 (14.7%)	370 (13.2%)	76 (14.9%)	20.5% -
その他事業	4,301	4,200	882	21.0%	277 (6.4%)	350 (8.3%)	55 (6.2%)	15.7% -
全社費用	-	-	-	-	▲ 1,097	▲ 1,100	▲ 236	21.5%
合計	34,110	33,000	6,436	19.5%	1,629 (4.8%)	1,700 (5.2%)	112 (1.7%)	6.6% -

※ ()のパーセンテージは営業利益率を示す。

1株当たり配当金	2016年3月期		2017年3月期(予想)	
	中間	5.00 円	中間	5.00 円
期末	5.00 円	期末	5.00 円	
年間	10.00 円	年間	10.00 円	

	2016年3月期(通期実績)	2017年3月期(通期予想)
減価償却費(※)	487百万円	550百万円
設備投資額(※)	908百万円	900百万円
為替レート(US\$)	112.62円	105.00円
為替レート(EUR)	127.47円	122.00円

(※)キャッシュ・フローベース



「人・地球・環境」への貢献

当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動するなどのリスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、投資判断を決定する場合には、当資料の将来の見通しのみに依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。

また、当資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更する事もありますので、ご了承ください。